

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	1/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

1. 開会【企画財政次長による開会】

定刻になりましたので、ただいまより平成23年度からの次期総合計画に関わります地域別懇談会を開催させていただきます。座間市において現在、第三次総合計画の計画期間内であり第三次の総合計画につきましては平成3年に策定されまして、平成22年度をもちまして期間が終了と、こういう状況でございます。従いまして、平成23年度からの次期総合計画について皆様方からご意見頂戴し、いわゆる今後の座間市のあるべき姿というものにつきまして忌憚ないご意見をいただきたいとこのように思います。また本日はあわせまして次期総合計画に密接に関連します都市マスタープランというものがございます。これについてもご意見等をいただきたいと考えております。意見交換の後、座間市長より総括的なまとめをさせていただきたいと思っております。また、本日いただきましたご意見につきましては、十分に精査・検討させていただき、計画に反映させ計画案がまとまり次第、第2回地域別懇談会を開催させていただく予定です。その中で具体的な内容につきましてご報告もうしあげ再度ご意見等をいただく予定です。よろしく願いいたします。それでは座間市長であります遠藤市長からご挨拶申し上げます。

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

皆さんこんばんは。本当にこのお忙しい時間、夕食の時間帯にもかかわらず大勢の皆さんにご参加いただきましてまずもって深く御礼を申し上げたいと存じます。ただいま開会のご挨拶のなかでもご紹介ありましたが、わたしも座間市においては現在、第三次総合計画の計画期間内であるわけでございますが、平成23年の4月から次期の総合計画、これを策定したうえでその計画にしたがって今後市政について計画的な推進をしていく、こういう時期にきております。第三次の計画については、平成の3年にスタートして前期10年・後期10年全体で20年の計画となっておったわけですが、今回の時期総合計画につきましては計画期間をむこう10年と期間を区切って計画策定させていただきたいと存じております。それは、私が申すまでもなく本当に変化の激しい時代になっておる、そうした世相になっておるわけでございます。とりわけ私ども日本では少子高齢化社会、この高齢化の進行も急ピッチで進んでおるわけでございます。この人口減少については、人的要因を除き歴史上かつて経験したことのない事態、そうした課題を国全体で抱えていくなかで、私ども基礎自治体、市町村、市民生活に密着した立場でどのような施策をとっていくべきなのか、また安心安全そして末永くここで本当に暮らしてよかったと思えるまちにするために何が必要なのかということについて、どんどんこれはやはり考えをめぐらせてこの計画を策定していかなければならない、このように思うわけでございます。今後の社会情勢について正直予測が出来る人はいないというふうに思います。現在取り組んでいる私ども座間市の第三次総合計画、これについては平成3年からということで歩んでおるわけでございますけれども、平成3年という頃をぜひ皆さんにも思い出していただきたいと思うわけでございますけれども、ちょうどバブル経済が終焉を迎えて、坂道をごろっと下り始めた頃だったというふうに私は記憶しております。それから以後失われた10年と言われた日本経済のバブルの低迷期、これが私ども座間市にとっては第三次総合計画の前期計

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	2/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

画にあたる期間であったわけでございますし、その後の2001年から以降これが後期計画の該当期間であったわけでございます。日本経済がちょうどその谷間に向かうそうした時期にその前のバブルのそれこそピークからちょうど盛りの頃にあまれた計画が第三次総合計画、それに従って私ども座間市の都市基盤整備というのが特に前半の10年間で進められ、この間のやはり経済危機こうしたものを踏まえた中で、後半の10年間というのがその前半期に進めさせていただいたハードウェアの整備、都市基盤整備の部分でできた市債、これを丹念に償還をしながら市民の生活を守る、こうしたこれまでの取り組みであったのではないかとというふうに私自身は次期総合計画の策定にあたって総括をさせていただいております。その20年前に誰が今日のこの事態を想像したでしょうか。また、前期が終了し後期の10年間を考えると、こうした状態になることを誰が想像したでしょうか。この間にそれこそ携帯電話の普及があり、私ども子供の頃、まさかこんな時代がくるとは思ってもいなかったような状況になり、エネルギー危機というものが目前に迫る中、温暖化とういものがあり、どうも電気自動車というものも今後10年のスパンで考えますとおそらく10年後には相当普及しているんじゃないかといったような社会、そしてシステムの変化があらうかと思えます。こうした状況というものをやはりしっかり踏まえながら、今回の次期総合計画については、それらに対して柔軟に対応出来るようにということで、計画全体を5年間で見直しをし、事業計画については2年にいっぺん見直しをしていく、その時代にきちんとマッチしたかたちでこれを考えていく。見直しをするということを私は盛り込ませていただいております。ましてこの厳しい経済情勢、地方公共団体の財政状況というものもご存知のとおり本当に厳しい状況になっております。その厳しい財政の中で必要なものについて有効に活用して、本当に市民のためになるような行政のあり方、そのためにはやはり市民皆さんのお声、そして何が必要なかということについての率直なお考えというものを、やはり常に耳をすませて、傾けて伺いしていかなければいけない、このように思うわけでございます。これまでこの計画についての策定取り組みの中で、先月からでございますけれども、まず各種団体別の懇談会という、地域で活動されております団体の代表者様と分野別に3日間行なわせていただきました。そしてまちづくりフォーラムということで先般サニープレイス座間の多目的室にて、やはり同じような意見集約の場をもたせていただいたわけでございますけれども、色んな角度から色んなお立場から示唆に富んだご意見を沢山頂戴しております。まずは私ども行政の立場で考えておるんでございますけれども、実際にその行政のサービスを受けられている皆さんにとって、そしてこれから座間を共に作っていただくという皆さんにとって今後こうあるべきだということについて、率直な意見をまず伺っておきたい。そのために今回市内6地区に分けて懇談会を開催させていただき、色々な多様なご意見また地域ごとに違ってお考えもあるかと思えます。そうしたものを集約をさせていただいて、それをまた咀嚼をさせていただき、計画の中にテーマの中に盛り込んでいく。さらにそれをまたご提示してご意見を伺っていく、こうしたプロセスを重ねていく中で、計画を形成していきたいというふうに思っておるわけでございます。そうしたことから今日これからまず私どものほうで今取り組んでいることについての概要の説明をさせていただき、その後はどうか皆さんのほうから忌憚のないご意見をここで出していただい、それを受け止めさせていただ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	3/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

く、それを今後に向けての取り組みの私どもの糧にさせていただき、そうした場に今日はさせていただきたいというふうに思うわけでございます。これから先やはり、地域の中で希薄化したといわれるコミュニティこれについてもやはりきちんと見直しをしながら、ともに手を携えて助け合いながら、そして信頼しあいながら生きていくそしてこのまちに住み続けていく、こうしたやはり基本的な原点にかえった取り組みというのがまさしく必要になるかと思えます。そうしてはじめて今回の総合計画策定についての取り組みというの、まさに市民協働という言葉、私は難しい言葉あまり使いたくないんですけども、やはりともに考えともに歩んでいただくということのひとつとしてぜひ受け止めていただき、今日のこの会合お願いしたいと思います。時間の関係もでございますのであまり長いこともいけないと思いますので、このあたりで失礼いたしますけれどもどうか忌憚のないご意見よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

ありがとうございました。それではさっそくですけれども次の議題のほうに入ってまいりたいと思ひます。まずこれから皆さんのほうに今回の総合計画の関係につきまして、趣旨説明をまずご理解をしていただいて、その後忌憚のないご意見をいただきたいということで私共事務局のほうから趣旨説明につきましてご説明申し上げたいと思ひますのでしばらく拝聴いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

政策課長の山本と申します。よろしくお願ひします。本日本忙しい中お越しいたくださいませあらためてお礼申し上げます。私のほうから趣旨説明それから今までの取り組み経緯についてご説明させていただきますが、それに先立ちまして資料の確認をさせていただきますと思ひます。まず総合計画の策定の趣旨と枠組みという資料でございます。それから画面を印刷したもの、「都市マスタープラン」とはという1枚の資料、それからニュースレター1号から2号3号と、全部で3部でございます。過不足ございませんでしょうか。なければ趣旨説明を始めさせていただきますと思ひます。総合計画でございますが、地方自治法という法律で策定することが義務付けられているところでございます。本市では昭和47年に座間市総合計画を策定しており、2番目の総合計画としまして55年から平成2年までの間、座間市新総合計画を作成しております、そして今現在計画期間中でありまして第三次総合計画を平成3年に定めまして、22年までの計画となっております。その第三次総合計画も残すところあと1年半というなかで新しい総合計画を策定していくということでございします。新しい総合計画策定にあたりましては市民の皆様方からご意見等を十分にお伺ひしたなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目的として定め、1人でも多くの市民の方々がこの座間に住んでよ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】		頁	4/28
日時	平成 21 年 10 月 21 日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	

かったと思えるような計画にしたいという考えでおります。今までの取り組みについて簡単にご説明させていただきたいと思っております。本年 3 月には小学生児童を対象に私の座間というテーマで絵画コンクールを実施させていただきました。500 を超える応募がありましてそれぞれふるさと座間を想う気持ちに溢れる作品ばかりでございました。また同月には次期総合計画をどのような方針のもとに作成するのかを明らかにする策定方針を策定させていただきました。4 月 18 日には次期総合計画策定のキックオフとして、まちづくりシンポジウムを開催させていただきました。125 名の市民の皆さんの参加をいただいております。それから 8 月 20 日には座間子ども議会を開催させていただきました。座間の未来に向けたまちづくりについて子どもの視点から提言や質問をいただきまして、児童生徒が今後の目標として座間子ども議会宣言というものを採択し、発表を行いました。また 8 月から 9 月につきましては皆様のお手元にも届いているかと思っております、葉書のようなかたちで、あなたが思い描く 12 年後の座間というようなテーマで皆様から一言メッセージを募集いたしております。現在のところおよそ 2000 件のご意見等をいただいている状況でございます。そして 9 月の 28、29、30 日の間、各種団体懇談会を開催させていただきました。健康福祉、生活環境、産業労働、それから教育文化というような分野別に、開催させていただいております。それから 10 月 4 日には、まちづくりフォーラムをサニープレイスの方で開催させていただいております。これにつきましては、65 名の市民の方に、ご参加いただきました。それから本日も含めまして 14 日から 22 日までの間、6 箇所の会場に分けて地域別懇談会を開催させていただいております。これにつきましては、冒頭お話ありましたように、第 1 回目として開催させていただくもので、2 回目としましては、来年、案がまとまったような段階で、また皆様方からご意見等を頂きたい、そのように考えております。また、10 月 30 日から 11 月 12 日にかけては市民まちづくり討議会というものを開催予定でございます。これはなかなかご発言機会がない方や市政に関わりがない方々の意見をいただきたいということでございまして、2000 人の方に無作為でご案内をさしあげて、参加いただける方にご意見を頂戴しようとする新しい試みでございます。市民の方々に関係することについては以上でございますが、いずれも市のホームページ等で詳細を掲載しておりますのでご覧になっていただければと思います。また本日お配りした次期総合計画のニュースレターにつきましても、これもホームページ等でご紹介さしあげております。また自治会からも回覧をさせていただいておりますのでご覧になっていらっしゃる方もいらっしゃるかと思います。今後も広報座間やニュースレターなどで総合計画策定にあたっての進捗についてその都度お知らせしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。それでは本日配布さしあげました資料についてのご説明に移らせていただきたいと思います。まず 1 ページ目の策定の趣旨でございます。これにつきましては、総合計画の定義と経済環境など市を取り巻く環境の変化などに対応する計画をしなければならない、それには何が必要かというようなことを記載しています。平成 4 年にはバブル経済の終焉を迎えた、その後 10 年については失われた 10 年と言われているということでございます。平成 12 年には地方分権一括法というようなことで分権の礎となる法律が制定されております。それから平成 17 年には日本の総人口の減少が、少子高齢化社会の到来、三位一体の改革による財政の硬直化、これは直接座間市には関係ございませ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】		頁	5/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	

んが平成の大合併ということで平成11年3月現在では3232自治体が、来年3月には1753自治体になろうかというような変化がございます。資料には記載してございませんがその他にも平成12年には介護保険法、平成20年には後期高齢者医療制度が導入されました。本市の特徴・特別なものとして平成7年には自動車関係企業の閉鎖：生産レーンの閉鎖というような大きな出来事がありました。そう状況にも適確に対応した即応性の高い計画を策定しなければならないということを記載しております。次に計画構成期間でございますけれども、このような策定趣旨を踏まえて、次期総合計画の計画構成期間などを記載してございます。現在の第三次総合計画は20年間でしたが、次期計画ではこれを10年間とする、これは先ほどの時代の変化を踏まえるための変更でございます。また現在の第三次総合計画では基本構想と基本計画、実施計画という三層の計画でございました。次期総合計画ではわかりやすくするために基本構想と実施計画という2層にいたします。なお、実施計画は4年間で2年ごとに見直していくというような考えでおります。また新しい取り組みとして、より具体的に重点的に取り組む計画としまして戦略プロジェクトを策定し、より目的や成果を明確にして検証できるような戦略プロジェクトを導入しようと考えております。次に2ページでございますが、座間市の人口、現在までの推移を示してございますが、市内人口につきましては、平成47年までの推計人口を記載してございます。現在微増を続けている状況でございますけれどもまもなくそれも終焉し、人口が減少していきだらうと世帯数については横ばいですが、年齢別の将来推移でございますが、座間市において平成18年には老年人口と年少人口の逆転現象が起っております。高齢化率が人口の21%を超えると超高齢化社会と言われております、座間は25年にはその超高齢化社会に入っていく、そういう推計をさせていただいております。こう見ますと高齢化が進んでいくということは明白であろうかと思いますが、ここでちょっと座間市の特色といたしましてお話させていただくと国勢調査ベースで、783都市中、生産年齢人口というのが、27番目ということで全国でみれば多い状態にあります。老年人口についても下から数えて45番目、若い都市という特性をもっているということになります。3ページ目の土地利用につきましては、地域の17.58㎢のうち市街化区域が71.3%を占め、県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高い。そして住宅・商業・業務用用地が増加しており、工業・農業用地が減少しているとそういった現況を記載してございます。次の4ページから5ページにつきましては、分野別の特性と課題を記載してございます。①としまして健康・福祉分野、②としまして市民参画・コミュニティ、③としまして教育・生涯学習・スポーツ、④としまして都市基盤整備、⑤としまして環境・廃棄物、⑥としまして産業、⑦としまして行政経営、以上の分野の特性と課題を記載してございます。内容につきましては記載の通りですので省略させていただきます。次の6ページ目でございますが、ここでは社会潮流を記載してございます。これにつきましては人口減少社会、高齢化社会の進展、地方分権から地域主権社会へ、ソーシャルマネジメントの時代へ、低炭素社会の具体化、情報化の進展、社会と経済・雇用構造の変化、グローバル化とフラット化の進展、安心・安全の確保、教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流をまとめてございます。最後に7ページでございますけれども、実効性のある計画に向けてとして3段目に記載してございますけれども、市民の皆様が共通して目指すことが出来る将来都市像や

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	6/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

市民生活像を明らかにし、市役所と市民との役割分担を明らかにする計画として策定すると記載してございます。最後にこのページ1枚でございますが、ここに示させていただいております。1としまして、健康への取組み 安心 健やかなまち、2番目としまして、自立 めくもり 支えあうまち、3番目としまして、共に考え 共に歩む 安心のまち、4番目としまして、豊かな心 明日への希望 育みあうまち、5番目としまして、安全 憩い 快適なまち、6番目としまして、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7番目としまして、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8番目としまして、未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営、9番目としまして、市民基点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所というものを将来都市像の案として掲げさせていただいております。今後この将来都市像を市民との皆様のご意見等を伺いながらまとめ、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきでどのように実現していくかということを含め、今後明らかにしていきたいと考えております。以上で私の説明を終わりにしたいと思います。

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、都市計画課長が説明。

つづきまして総合計画と密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願いいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのお手元に配布させていただきました都市マスタープランとは、という資料に基づきましてご説明させていただきたいと思っております。それでは1点目の都市マスタープランとは、からご説明させていただきたいと思っております。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第18条の2に定められている法的な計画になっています。都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路や公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては総合計画と則することが定められており、また市民等の意見を反映させることも併せて求められております。座間市都市マスタープランを概念図で示しますとこのような図となります。国・県の計画、市の計画これらを受けて座間市都市マスタープランを作成します。これに伴いまして都市計画の分野別計画、具体的な都市計画としての決定事項が都市マスタープランによって定められます。次に2点目としまして座間市都市マスタープラン改定の目的としましては、現在マスタープランは、平成13年に策定させていただきました約8年が経過しております。この間都市計画法の改正や景観法の制定、総合計画の説明のなかでも触れられておりました少子高齢化の進展や経済情勢、激変する社会潮流等このような背景を踏まえ現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画とするための改定となり

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	7/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

ます。なお、計画の策定に当りましては、関連計画との整合に充分配慮して行っております。3点目の次期計画の計画期間ですが目標年次としましては、総合計画と同じ平成32年度を予定しております。4点目の座間市都市マスタープランの構成としましては市内全域を対象とした全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、及びこれらを実現するための、実現化方策を定めさせていただきたいと思っております。全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのこの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。これらの構想を踏まえまして実現化方策として都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきます。なお、都市マスタープランは総合計画と密接に関係しておりますので次期総合計画と連携をとりながら進めさせていただきたいと思っております。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしましても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程で幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上で私の説明は終わります。ありがとうございました。

4. 意見交換

【市役所】

それでは意見交換に入りたいと思っております。意見交換につきましては、限られた時間でありますので懇談会が効率良く円滑に進むために、総合計画策定に経験がありノウハウを持つ今回来ておりますパシフィックコンサルタンツの進行支援をお願いしておりますのでご了承いただきたいというふうに思っております。それではよろしくお願ひいたします。

【コンサルタント】

こんばんは。パシフィックコンサルタンツの齋藤と申します。よろしくお願ひいたします。今ご紹介いただきました通り今日多くの方がご参加されておりますので、皆さんが数多くご意見をご発言いただけますよう、そしてまた市の皆さんと円滑にコミュニケーション出来ますよう司会進行役をさせていただきたいと思っております。ですので今日いただいた意見を私が持ち帰って計画を作っていく、そういうような役回りではございませんのでその点ご理解いただいて、進行のほうご協力いただきたいと思います。座ってさせていただきます。これからこのスケジュールにもありますが、8時45分その手前ぐらいまで皆さんにご発言をいただきまして、今説明ありました総合計画の新しい市民の生活像、将来こうあるべきだというような今、案それとそれに対する今後の方向性について皆さんからお考えをいただくということと、都市マスタープランについてのご意見ということで、福祉から土地利用から様々な分野のご意見をいただくというようなことになっております。多方面にわたりますし、皆さん多くの方参加されておりますので、いくつかの複数ご発言ある方は最初1つ2つ絞っていただきまして、その後他の方がご発言いただいた後に再度ご発言いただくような進め方をさせていただきたいと思っております。で

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	8/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

すのでまず日常の話からも含めて多くのご意見をいただきたいと思います。それではせっかくですので、お時間もありませんので、どなたかから口火を切っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。どうぞ。議事録の録る関係もございますのでマイクがまいますのでよろしくをお願いいたします。

【参加者】

まず内容の説明聞きましたけども、平成32年には座間市の例えば人口とか高齢者のパーセンテージとかそういったものはどうかたちになっていますか。どういうふうに想定してるのか。たとえば国と、国も今高齢化高齢化と言ってますけれども座間市はそれと比べて高齢化は進捗するんですか。そこらへんちょっと教えて下さい。それが見えないとお話聞いてもわからない。32年の座間市の姿というかそこらへんをちょっと細かく教えていただきたい。

【コンサルタント】

そうですね出来れば、質問として何かもう1方2方ありましたらまとめて1度市のほうから回答いただきたいと思いますが、その他ここをちょっと聞いておかないと話が出来ないということがございましたら、よろしいですか。現状と将来の話ですね。将来は先ほどパワーポイントでグラフがありましたので。レターのほうですね。今のご発言ご質問に関しましては今お配りされてますニュースレターの第二号ですね、そちらのほうの開いたページ、こちら表紙が特集次期総合計画策定とコミュニティという特集がございまして、開きますと中に人口のお話がございます。こちらにこれまでの推移とこれからの傾向ということで出ておりまして、今後の人口の高齢化率の割合なども右の下のほうに載っております。このようなかたちで高齢化率が、参画比率が65歳以上ですので29.8%、37年、42年には32.3%そんなようなかたちの推計がなされているということでございます。その他のご質問など結構でございますが。それでは今マイクまいますので少々お待ち下さい。

【参加者】

こんばんは。当コミセンもかれこれもう20年経つわけですけど、四ツ谷にはまだかなり調整区域がございまして、日常面で浄化槽を使っております。公共下水道がある程度パーセンテージが達成されるのはいつ頃か、後ほど結構ですけどお願いします。それからもう1つご承知のように四ツ谷地域は学校が座間小と入谷小に分かれております。これは私どもの諸先輩が大変難業苦慮されまして現在のように分割されたわけでございますけれども、私どもの経験で、子ども会の問題あるいはお囃子の問題あるいは市民レクの問題、非常に小学校が一体であれば相当効果もあがると思いますけれども、少子高齢化の現代でございますが、見通しとしてはいかがかなと思います。それからもう1つは本日の施策には関係ございませんが、今日見渡したところ、非常に出席者が少のうございます。これは確か広報での告知のみだったと思います。確か3年くらい前にやはりこの場所で、確かまちづくりの問題でございまして、私も申し上げたんですが、ひとつの案としては自治会があるわけですから、その辺りに回覧等あるいは掲示

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	9/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

板に告知をされれば周知のある程度はあがったのではないかなというふうに思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。3点ほどいただきました。後ほど今のお答え、考え方については整理していただくとしまして、せっかくの時間ですので、もういくつか皆さんにご発言をいただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。後ろの方お願いします。

【参加者】

〇〇と申します。市民病院の件についてお尋ねしたいんですが、座間では現在12万8千人口がおられるというようなことでございます。近隣市を見渡しますと、厚木市民病院ですとか茅ヶ崎市民病院、藤沢市民病院等々市民病院が各市町村にございます。当市におきましては財政多難なことだと思いますが、この10年間で市民病院の設置を検討されておられるのかどうか、また我々としてはぜひ市民病院を作っていたきたいとかように思いますが、その点につきましてお尋ねをいたしました。以上でございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。病院のこれまで、これからの検討の話ですね。それではその他の方、どうぞせっかくですから。前のほう、お願いします。

【参加者】

〇〇と申します。分野別の特性と課題というところに書いてあること5番ですけれども、ごみのことで提案があります。座間市はこの前の広報にも載っていましたが、県内でほとんど1番じゃないかという現状、市民の出す可燃ごみ量が。計算しますと、1人あたり499gかなと私計算してみたんですけれども、東京都の多摩のほうだと400g以下なんです、そういう資料がありまして。というのはやはり有料化が進んでいるところがあるようなんです、要因として。ですので、有料化も必要なことと私たち考えますけれど、その手前のここに書いてあるようにまずは、この書いてないこと発生抑制をまずは重点をおいてやっていただきたいのと、その次にこの資源化を進めるということであれば、今缶瓶などあと不燃ですか、小松原のリサイクルセンターに行ってますけどもそこは見学も出来ないぐらい狭いからと言われましたけど、あと心岩寺ところペットボトル集めてたり、でも狭いから危ないよなんて言われて、やっぱりこれからもっと資源化を進めるのであればそうした場所の確保をぜひ安定的に、環境教育のためにも見学が出来るような状況の施設に、この前の今の第三次の計画では西部構想というものがあつたことをお聞きしましたけども、何も場所とかまとめてとかいうことはそれがいいとは思いませんけれども、とにかく場所の確保はある程度していく必要だと思います。あと資源化を進めるためには、今の可燃物の半分が生ごみということですから、やはり生ごみや、剪定枝、枝のところの資源化を進めるよう、本当に実験からはじめたらいいと思うんですね、やっていただきたいと思います。それでごみっていうのは1人一世帯一世帯の環境のことなん

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	10/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

でもそうですけども、1人1人一世帯一世帯努力の積み重ねだと思いますので、生ゴミのところは本当に一世帯がやるということで成果が出るかだと思いますので、ぜひとも取り組んでいただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。どうでしょうその他の、それでは今お手を挙げた今マイクまいりますので少々お待ち下さい。

【参加者】

上宿の〇〇ですけど、市長には色々手紙等で色々やっていますけども、今回の座間キャンプの音楽のとき、一応座間キャンプとしてはお知らせというかたちでいただきました。ですけど、この配布を見るとこれを自治会の会長に配布されて地域に対して配布されてない。それで私は強く申し入れて、渉外課に回覧文書をまわすように言ったんですけど、これについて私たちは関係ない、というような対応でした。やっぱり窓口は渉外課なので地域にやっぱり回覧文書を作ってまわしていただきたい。それから文化財の件なんですけど今大風、写真が古い写真はもう茶色くなって消えかかっています。ただ風あげるだけの大風の補助金じゃなくて、こういった写真ですね、風について相模原では風会館とって立派なもの出来て風の名前も年代別に地域別にきちんとなってます。座間市の場合は色んな本見ても、そういったものはありません。上宿でも昭和4年から31年ですか、9枚ぐらいしかありません。大正時代もあげたといって、写真もあるはずだといいますが、そういった写真は見当たりません。そういった意味でやっぱり四ツ谷、各地区で風あげてるんですから風のこういった写真の保存ですね、市史編纂委員の方に言われたら今そんな時間はないんだと言われました。写真はもう時間ないんです。今やらないと、全部消えてしまいます。そういった意味でそういった予算、大風の補助金の一部でもいいですから、こういった写真にもっと力を入れてもらいたい。それから文化財としてですね、キャンプ座間にあった昭和10年頃の建物ですね、これをわかば保育園のほうに移築して今回これを解体するというので教育のほうの文化財の担当の方にお話ししたんですけど、規制はされていないと、文化財的な価値はあるのかないのかわかりませんが、建てて70年の建物ですけど、見ていただければ立派な40cm角かな、ケヤキの木で戸もケヤキで立派なものなんです。これは全国の大工さんがキャンプに集められて作ったものなんです。これをもくずにしていいのかと、そういった意味でもっときちんこの文化財の保護、力を入れていただきたいと思います。それから道路については、小田急それからキャンプ、相模線等こういった南北に横たわって、横の東西の連絡道路、これは全部踏切とか交差点とかそういったもので関所になっちゃって、裏道的なものは西側にあるけど、東側特に上宿のところは私のところから県道に入ってそれからまた相模原へ行くといった迂回路になってるんですけどどうも混雑してしょうがないわけで、東西に抜ける道、しっかりともっと計画に入れていただきたい。相模原市は地下道を今、最近ですね説明会を終わらせて、相互で2車線で道路を造るということになっているようですけど、上宿の人はそこ通れますけど、そうすると今度相

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	11/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

武台、あの辺が非常に渋滞すると、それから工事中は座間のキャンプからのほうの道路、非常に混雑すると思います。そういった意味で今あそこの地下道のトンネルの下、占有地あります。あそこをバスストップつくって、きちんとバスが通れる、それは座間大通りを渋滞にさせないための方策だと思うのでぜひ実現させていただきたい。それは早期に計画、県のほうは計画していると思いますが、市のほうはもっと協力を推し進めて県を動かしてきちんとやっていただきたい。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。今文化財の話、大風の話、写真の保存の話、そして道路の話とございました。どうでしょう、他の方も、もう少しお話しただいてから1度お答えいただくとしまして、前のほうの方お願いします。

【参加者】

四ツ谷の自治会長やっています〇〇と申します。私、子どもが中学校に1人通っているんですけど、給食の問題が全然進展しないので地域の議員さんにもお願いをしているんですけど、今年度から厚木市は、相模原市もそうだったかな、給食を始めて家庭の負担が少し楽になったという話も聞きますので、小学校は小学校で給食を作ってそれをやっってるんですけど、中学校も同じように給食の負担が家庭で結構大きいもので朝とかは、主婦、私の女房もそうなんですけど、結構大変な思いをしているんです。その辺が進展があるのかなのかということと、あともう1点。先ほどもありましたように、ごみの問題についてこのあいだ2、3日前なんですけど、うちのごみ捨て場に不法投棄がありまして、2時間ぐらいのあいだにごみ捨て場がいっぱいになるということもありまして、厚木市では住民票登録のときにここにごみを捨てなさいとかいう指定が、海老名市もそうなんですけど、あるそうなんです。そういうことを自連協の理事会の中でもお話をしたんですけど、座間市はそういうことはやっていない、出来ないというふうに言われて、実行しない、努力をしないものを出来ないと言われてもこちらとも困ってしまうので、そのへんの指定は出来ないのかという2点ですね。

【コンサルタント】

ありがとうございました。その他の方がいいかでしょうか。どうぞご遠慮なくお願いしたいと思いますけれども。それでは今マイクがまいますので少々お待ち下さい。

【参加者】

放置自転車の件なんですけど、これは警察に言っても警察はそこまでと、法律守るのみだと、それから市の行政に言っても道路とかそういったものであれば片付けるけど、民地にあるものはちょっとそこまでと。結局誰がそれを片付けるのかと言うと、土地の所有者がお金を出して持っていつてもらわなきゃいけないのか、そうしたこともこのあいだちょっと所有者にこれどう片付けて下さいと言ったら逆に怒られました。これは何で所有者が金を出して片付けなき

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	12/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

ゃいけないのかと、そう言われました。これは誰が片付けたらいいのかお伺いしたいと思います。

【コンサルタント】

その他の方いらっしゃいましたら。ご質問なり、将来に向かってのご意見なりですけれども。区切ってよろしいですか。1度ここで区切らせていただきまして、話がちょうどいいところだと思しますので今出てきましたお話について、まず1度ご回答いただければと思います。

【市役所】

都市部長の和田と申します。どうぞよろしく願いいたします。私のほうで東西の道路がない、この必要性のお話がありました。私も同感でございます。東西それから南北の幹線道路、まず座間市では道路の脆弱性、これは痛感しているところでございまして、この総合計画そして都市マスタープランの改定と合わせまして、座間市総合都市交通計画そういうものも今作っている最中でございまして、周辺環境もさがみ縦貫道が出来たり色々変わってきております。交通予測もだいたい10年後には変わるだろう、その予測のもとに何が必要か、そういうものをしっかり出していきたいと思っております。ご指摘の東西の幹線道路ということになりますと、都市計画道路の座間南林間線、座架依橋から来るところが今座間大通りでT字路になって終わっちゃっております。それからその道路、計画道路東側行きますと役所の前の通り、それから南林間側へは出来ております。役所の前の通りから座間大通りの間がまだ未完成の部分となっております。そのへんの課題しっかり認識しておりまして県への要望はしているところでございますけれども、要望するにあたりまして、どういうことで、どういう状況であって、これからどうなるから必要だ、そういう根拠が必要だと思っております。そういうために今計画作りをしております、今後の総合計画にもしっかりその必要性を載せていきたいなと私どものほうで思っているところでございます。貴重なご意見どうもありがとうございました。

【市役所】

企画財政部の宮代と申します。私も新田宿の出身でございまして今日は非常に緊張しておりますけれども、私のほうからは先ほど今回の地域別懇談会の参加される方が少ないという関係で、どのようなかたちで募集といいますか、呼びかけをしているのかということでございますけれども、今回の地域別懇談会につきましては10月の中旬に自治会さんを通して配布をお願いしております。今日お配りしましたニュースレターとの関係も合わせてお配りをしたところでございます。ただ、今思えばやはり会場の都合によりましてどうしてもこの日になったわけございまして、やはり今日来れない方も沢山いるのではないかと思います。したがって今日はこういうこととお許しをお願いしたいと思うんですけれども、この後第2回の地域別懇談会も予定しておりますので、そのへんにつきましては配布の際によくそのへんも考慮していただいて、配布をしていただくように周知を図っていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	13/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

【市役所】

秘書室長の今福でございます。私のほうはキャンプの関係で大きな音を出す音楽祭ありまして、大変ご迷惑をおかけしたというふうに思っております。その通知ですけれども、やはり地元の皆さん方にはしっかりとそういったキャンプの中である行事、こういったことをやるかということをお知らせするという必要だと思っておりますので、またキャンプの渉外部のほうとよく調整をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

【市役所】

こんばんは。市民部長の清田と申します。さっきあった放置自転車の関係のお話がありました。私どもはやはり放置自転車が駅の周り、周辺に放置されると大変一般の方が困っているとそういうようなことで、放置自転車の禁止区域ということで、非常にその部分は整地させていただいております。ただその民地の部分に捨てられたものについては市の方としてもやはり民地の部分ですから、その部分に入って行政が入って撤去するとそこまで出来ない状態があります。そういう現状がございます。それと例えば道路のほうに捨てられた部分はやはり公の公道ですから、そちらの部分は道路のほうの担当のほうで処理をさせていただいているというような状況でございます。

【市役所】

環境経済部の本多と申します。先ほどごみの関係で生ごみ・剪定枝の資源化をということで、いただきましたけどこちらにつきましては、現在第三次の高座三市の関係で座間と海老名と綾瀬ということで、ごみの削減を図るということで今計画を進めているところでございます。ごみにつきましては、焼却施設の更新には平成30年をめどに今検討をしているところでございまして、なるべくごみの排出量を少なくするような方針を方向を座間市としてもとっていくようなことを考えております。それから転入者へのごみ出しの説明お知らせをということにつきましては、建物を建てる場合とかにつきましては自治会長さんへの協議というふうなことをお願いをしているところでございますけど、転入者につきましては今のところそういう方法、方策がございませんので、周知、広報等について今後検討してなんらかの対応を取りたいと思っております。

【市役所】

教育部長しております中村と申します。先ほど四ツ谷地区の小学校の学区の関係について、学区が入谷小学校と座間小学校に分かれているということで、コミュニティに関して弊害があるのではないかとといった質問がございます。これは学校を中心に道路の交通関係事情等もございいますから、道路の関係、道路で区切ったり、また学校との距離そういったもので学区を決めさせていただいております。今回の総合計画の策定の中でニュースレターのほうにもございいますけども、14歳以下の人口の割合というのは、平成17年度は14.1%から平成32年には9.5%、

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	14/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

平成42年は8.1%と推定されているというような状況でございます。私どものほうも将来的にはやはり学区の再編というのも考えていかなきゃいけないなと思っておりますけど、現状では座間小では829人というような児童がおられ、また入谷小では474人というような状況でございます。ですから現状では、統合とかそういったものは考えていないということでご理解いただきたいと思っております。それともう1つ先ほど文化財の保存の関係でご質問ございました。そのへんもしっかりと不備なくやっていくというような考えで今後とも努力をしていきたいと思っております。それと中学校給食の関係でございますね、中学校給食座間でまだ行われていないんじゃないかということで、現在中学校はミルク給食という状況でございます。現在21年度、今年度22年度という両年度で座間市の中学校給食、実施する実施しないも含めてあり方の検討委員会というものを外部委員さんも含めて検討しているところでございます。そのような状況を踏まえながら、さらに教育委員会としても検討をしていきたいと思っております。以上でございます。

【市役所】

こんばんは上下水道部長の佐藤と申します。先ほど市街化調整区域を含む公共下水道の整備の見通しについてお話がございました。公共下水道は現在、市街化区域の約95%ほどの地区の汚水整備が終えております。現在残る5パーセントについて順次整備をしているところでございますが、この整備期間が現在の事業認可と申しまして事業やるための手続きを起こした期間が平成23年度までという状況でございます。現在この残されました市街化調整区域この生活排水の処理につきましては、だいたい国のほうの制度も変化をいたしまして、公共下水道だけじゃなく合併浄化槽による排水処理も含めて検討を行ったうえで事業化が求められているという実状がでございます。ただ私どもとしては比較的集落はまとまっている部分もございまして、効果的効率的な排水処理法を現在検討中でございます。今後の市街化調整区域での公共下水道、環境を主体に考えているところでございますけれども、さらにそれも効率性の面でのどの程度の部分を整備をしていくか現在検討中でございますので、現在の事業認可期間をまた更新するにおきましてまた皆様方の方へ、ご案内をさしあげたい、このように思っております。

【市役所】

保健福祉部長の田中と申します。先ほど市内に市民病院、というようなご要望だったと存知ますが、病院、今まで平成18年度まで市内に二次病院という規模の病院が5箇所ございました。これは現在2箇所になっているような状況でございます。なにぶんこの健康等考えますと、自分の家のそばにやはり身近なところに病院があれば、いちばん安心するなというようなところだと存じます。病院の状態でございますが、この二次病院今まで減ってきたような内容でございますが、県央に県央医療圏というのがございます。これは国、県が定めました県央医療圏というのがございまして、これは川の西側につきましては厚木、愛川、清川、相模川の東側については海老名、綾瀬、大和、座間この地域が県央医療圏ということで構成されてございまして、現状座間市の場合病院が2つになったということで考えられない部分がございますが、この医療圏の中では病床過剰地域というような状況がございまして、病床過剰地域ということで、

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	15/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

状況としましてはこの県央医療圏の中では病院を増やすという状況は、今現在計画の中にございません。いざというときに病院を必要とされる場合には私どもでは広域で救急医療等を今進めさせていただいているところがございます。相模川以東の海老名、綾瀬、大和、座間市この4市を含めまして広域での救急体制を、協力体制をとらせていただいているようなところで、救急病院1時間2時間かかって、搬送するような状況は好ましくございません。この近隣の救急体制を維持しながら、今後も医師不足それから医師の医療関係のスタッフの不足、こういったものを国・県のほうへ要望をしていながら体制の維持に努めさせていただくような状況を確保してまいりたいと思います。

【コンサルタント】

皆さんからいただいたご意見に対する一通りのご回答のほうございましたけど、それでは続きまして、マイクがまいりますので少々お待ち下さい。

【参加者】

地下水についてですけど、安心な水おいしい水、安全な水、衛生的な、ということが書いてありますけど、安全とはどういうことを言われてるんですか。例を言いますと、相武台の踏切のところポンプあって水揚げてると思っています。その上流300mのところ相模原との境に不法ごみがあります。これは以前に燃やしていました。それで、消防庁がきて消して、その上に、後放置ごみいっぱい山のごみになってます。そういったところから雨の日に大量の水が川に流れて、下のポンプのほうに流れています。そういった状態でこれは安全な衛生的な水といえるのか、これは年毎に段々下にひいていると思うんです。そういったことで特に田んぼがあるときは水が多いんでいいんですけど、これから相模原の上流のほうはまだ水を家庭排水を捨てますね。このあいだもあの踏切のところ大量に魚死にしました。座間市に連絡して、大量に魚あったのを誰かすくいあげた人いると思うんですけど、その次に横須賀とか横浜とか県水の人たちがきて、水を調査してましたけど、その結果知りませんが、あれだけの大量の魚が死んでいるんです。そういった意味からも、上流には魚いっくら生きていたのでこの水じゃないなと思いますけど、こういった汚水ですか家庭排水そういったものをあの川に流している日常の中でそこにポンプを持って行って吸い上げてること自体が私は安全な水とは言い難いので、あのポンプはやめたほうがいいんじゃないと思います。

【コンサルタント】

続いてよろしいですか。今真ん中の手挙げていただきました、マイクでお願いいたします。

【参加者】

何点か申し上げさせていただきます。総合計画ということで今後10年間、計画を作成するというなか、短期的に消化しうるものあるいは中期的なもの長期的なもの、あるいは10年以上にわたるものも当然あると思うんです。ですからその数年しっかりやっていただきたいとい

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	16/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

うのがひとつあるんです。それから座間市の財政の問題でありますけれども、色々な計画を作って今色々な要望出てまいりましたけれども、そういうものを実行し実現をするというためには当然財政的な余地がなければならぬ、そうすると何よりもかによりもその財政的な基盤これをどうしていくのか、というのは先ほど市街化調整区域とか市街化区域だとか色々、もしくはだんだん産業が少なくなっている。例えば通りが少なくなる。農工商それぞれの収入少なくなってきた。そうすると座間の財源少なくとも収入ってのは一体どうなってるんだろう、国からもらうだけ、県からもらうだけ、そうじゃないはず。そういうような財政の収入、よそに出てくことについては色々な希望があるから全部使ってしまうと散財すればあつという間なくなっちゃう、ですから入るをどうするのかということを考えていただかなければいけないんじゃないか。座間非常に住みやすいということ聞きますけれども、正直申し上げてゆくゆくこの10年先というのは本当に財政基盤について非常に心配してますので、そういうことについては本当に真剣にいかなければいけないんだろうと思うんですね、そうするとじゃあこの非常に限られた狭い面積の座間のなかにそういうような農工商、それから住む居住区どういう具合に整理区分していくのかとこういうことになるんだと思うんですね。先ほどハードからソフトという話をされました。これは今の全体のそういう流れでありますけれども、座間の場合本当にハードからソフトへということなんだろうか。ソフトというのは非常に心のそういうものがあるんだと思うわけですが、特に私先ほど話がありました、ハードの面で道路の問題ですね。私はこの座間にきて30年住んでますけれども、本当に幹線道路が全然発展がない、進展がない。これはやはり座間の一番のネックです。これ何としてもこの部分までやるんだ、もちろん道路ですから地権者との色々な問題難しい問題もありますけれども、東西南北結ぶ幹線道路を本当にやはりやるんだ、それは市民の皆さんにもちゃんと明確に表明をして、この道路はこのぐらいやっつく、私は本当に地権者の方々色々変わってきてますこの30年のなかで。ですからそこは熱意を持ってやっっていく、根気よくやっっていくというところの姿勢がなければ、先ほど都市部長が計画練ってると、計画練るのは楽なんですよ、誰でも出来る。問題はどうやって実現し実行するかということですから、そこには大変な地権者を含む市民を含む非常に難しい問題、そこに一步も二歩も足を突っ込まない限り道路計画なるものは実現が出来ないんだ、結果30年何も進展してない。もちろん要所要所のところはあるけれども幹線道路という面では本当に情けない状態。それと先ほど3人が縦貫道路の話をされたけれども、このさがみ縦貫道路というのは4、5年先に完成すると、茅ヶ崎から寒川、海老名、座間それから相模原とあるけれど、幹線道路の中で座間市だけが除外されてるんです。資料見てみますと座間だけないんです。例えば茅ヶ崎は人口がどのくらいでこうだ、寒川はこうだ、海老名はこう、次座間あるのかなと、座間ないんです。飛んで相模原です。確かに縦貫道は座間には通ってないけれども、しかし座間の市民が絶対的にこの縦貫道利用するはずなんです。ということはどういうことかというやはり座間市の行政としての縦貫道に対する市民の熱い気持ちというのをちゃんと汲んで、座間としての存在、座間としてのあり方、座間としての関わり方という問題について、もう少し真剣に前向きに対応していかないと、座間って本当通行左遷されちゃう。幹線道路の本当にその隙間のわずかな地域のまちにしかならない、そういうことだから幹線道路について

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	17/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

もなかなか前進がないんじゃないのかな、こういう具合に私は思います。もう1つは先ほど病院の話なんですけども、先ほどの話の中では海老名、寒川、大和、座間とおっしゃいましたね、相模原が入ってない。座間市民は一体、ちょっと大きな病気だということになるとどこの病院利用されてるのか。一度統計をとったらいんじゃないかと思うんですね。ということは相模原の国立病院であるとか北里病院であるとか、圧倒的に利用してるです。ですから状態が実態がわかりませんが、確かに病床がそれなりに満床して、大和市民病院だと厳しいということがあります。そういう話は聞いておりますけれども、やはり座間のそういう部分が出来ないならば、関連する地域の病院との連携とか座間市そのものがこれくらいやってるんだよと、市民の皆さんこういうところどうぞ、こうふうに言っていただいて利用して下さいよ、こういうような働きかけをもっと徹底をすべきじゃないか。今言った満床であるからなかなか出来ないんだということについても市民の皆さんはあまり知らないはずなんです。だけど、そうなんだと言われても、市民の皆さんとの間に齟齬がある、乖離がある、そういうことを言わざるを得ないわけです。それから先ほど冒頭申し上げたけれども、やはりどうしても行政と言う立場からすれば、広く色々なところに気をつかわなくちゃならない。先ほど文化の問題もあれば、下水道の問題も色々な問題もいっぱいあって、そうするとそういうところにもお金使う、あちこちにまんべんなくお金を使っていると限られたお金っていうのは結局、少しずつ進んでいるかもしれないけれども10年経ってあまり変わらないというような印象を市民の皆さんはうけるかもしれない。そういう面では重点思考といいましょうか、例えば先ほど来の道路だとかこういうものをやっちゃう、やるんだ、やった、そういうような市民の皆さんの大いなる協力といいましょうか、喚起を促してやっていくということをしないうり座間の変わったというそういう状態になかなか出来ないんじゃないかなという具合に思います。その他ありますけど、しゃべってもいけないからそのくらいにさせていただきますけれども、何かあれば質問を申し上げます。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。先ほど安全な水の話の問い合わせがありましたけれども、残り時間もありますのでもう一方二方にお話しただいてからお答えいただくようにしたほうが、皆さんのご質問が出来ると思いますので、ご意見ご質問あとこういうまちにしたほうがいいんじゃないかというようなご提言など色々いただきたいと思います。時間も限られておりますので、どうぞせっかくですので、お手を挙げていただいてご発言いただきたいと思います。はいどうぞ。

【参加者】

子育て支援のことなんですが、子育て支援センターが東原と第二の相模が丘にありますけれども、そうした機能というのはやはり地域に歩いて行けるところに出来ればあったほうがよろしいかなと思うんです。ですのでこちらのほうの四ツ谷の方面からあちらの東原や遠くに行くのはなかなか難しいという状況の中で、施設を作るなどはお金もかかりますから、例えばコミ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	18/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

センのわりと空いてる状況であればその一角を利用するとか、空き店舗だったり提供して下さるような本当に民家があればというようなところの工夫で地域で特に下のほう、四ツ谷のほうですけど新田のところでも子育て支援の機能を持つ場があったらいいなと思います。よろしくをお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他の方、ここで回答いただきますと質問時間がなくなる可能性もありますので、ご意見する時間がなくなる可能性がありますので、ご意見ある方今のうちにお話ししたいと思えますけれども。

【参加者】

四ツ谷の〇〇です。先ほどちょっと3点ほど見直しをお伺いしましたが、1つだけ懸念されること2、3度あったので、ということは先ほど担当部長の方が公共下水道は市街化区域の九十何%達成されたと、確か去年か一昨年の広報ですけれども、それを接続するときの広報の見出しが、広報のトップなんですよ、その書き方が、環境にやさしい快適な生活を。全市民を対象であれば、私共非常に喜ばしいんですが、ちょっと見た場合にこれは四ツ谷にも公共下水道が導入されるのかなというふうに錯覚を起こします。これは担当課からされれば、自宅への引き込みのPRは非常に大切な用件かもしれませんが、私共まだ入ってない市民からすれば、これは感覚的に違和感を感じます。その点私ちょっと担当のほうに電話しようかと思いましたが、大人気ないから何かの機会にお話ししようかなと、私1人だけではないと思う。ちょっとご参考にしていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。どうでしょうか、もしあれでしたら。せっかくですからご質問意対してお答えなどもいただいたほうがいいと思いますので、もしご質問ご意見ございませんでしたら一度市のほうから今後の話でわからない部分もあるかもしれませんがお答え出来る範囲でお願いしたいと思います。

【市役所】

上下水道部長の佐藤でございます。まず水道の水源の取水井戸の関係でございますけれども、市民生活像10年後を見据えたなかで、おいしい水 安全な水 衛生的なまちという表現のなかで安心の部分で懸念を持たれるようなご発言がございました。現在市内には水道水源として8本の井戸がございまして、そのうち座間地区四ツ谷地区には4本の井戸がございまして、こちらにつきましては定期的な53項目、いわゆる水道の法に基づきます水質検査53項目してございますけれども、こちらについて定期的に検査を実施しておりまして、いずれも基準値の中に収まってこれは水道水になる前の地下水の状態が原水状態がそれをクリアしてるという非常に安定している水質というふうに思っております。また市内全体で給水しております、約日量で4

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	19/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

万tという水をお配りしてるんですけども、そのうちの約15%神奈川県水道から水をうけておりまして、それをブレンドしてお配りをしているという実態でございます。またその水質、地下水の部分につきましては非常に水質がいい関係で消毒のみという浄水方法で皆さんのところへお配りしてるんですけども、これも水質が悪化してくれば当然それだけでは済まなくなる。そのためには当然地域環境を皆さんで守っていかなくちゃならない、この前提がございます。また、今後も新しく、国等で水質の基準をさらに高めてくる、これは度々起こるわけですけども、それらの基準に対して当然水道事業を行うものとしてそれもクリアしていかなくちゃならない、仮にそのような部分で現在の状況に不測が生じればそれに新しい対応を迫られるということになりますので、当然水道を続けるには新しい浄水方法等の研究をしていかなくちゃならないというふうに思っております。次に公共下水道の関係で私どもが整備したなかで接続を促進お願いする広報等のトップ面での表現の部分でまだ整備されていない地区につきまして違和感を感じられるということで、これは申し訳ございません。ただ私どももせっかく整備をした下水管でございますのでそれを使っていたら効果が発揮出来ない、これを主眼にして接続のアピールをさせていただいているものでございます。先ほど申しましたように今後市街化調整区域の下水道、排水処理のあり方については現在検討中でございますのでまたその方向が見据えられましたらご案内を差し上げたいとこのように思っています。よろしく願いいたします。

【市役所】

幹線道路のお話で先ほど東西の道路のお話でしたが、東西だけではない南北必要でというお話をいただきました。確かにその通りでございます。南北につきましては東名高速の綾瀬インターチェンジというのが見えてきております。これを綾瀬インターチェンジを有効に座間市のほうとしても活用しなければいけないというなかで、この都市計画道路でございますが広野大塚線という南北の幹線軸がございます。これはぜひ今後推進していかなければならない道路でございます。この交通需要予測も今総合交通体系の計画のなかでやっている最中でございます。またさがみ縦貫、座間は抜けちゃって相模川の西側の厚木側にいつちゃって直接は通らない、ただそこの利用はあるんだよという話確かにそうでございます。この座間さがみ縦貫道路のまずは海老名のインターチェンジが出来て、その次には厚木のインターチェンジが出来ます。厚木のインターチェンジが出来れば座架依橋を経由して間接的ではございますが国道129を使っての利用ということで、これの流入流出も将来予測をしっかりと立てた中で座間市のなかの道路にならなくちゃいけないという予測を立てた中で計画をしっかりとしていかななくちゃいけないと思ってるところでございます。そのなかでちっとも進んでいないというお叱りをうけました。しっかりと今後とも頑張っていきたいと思っております。貴重なご意見どうもありがとうございました。

【市役所】

私のほうからは先ほど〇〇さんのほうから財政状況ということで、今後10年間の先を非常に心配されてご意見も含めていただきました。ご意見にありましたように確かに10年後の財政

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	20/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

状況、これは当然ながら今回の総合計画にはうたっていかなければならない部分だと思います。ともすると歳出事業のほうに目がいきがちの部分もありますけれども、やはり財源があつての事業実施でございますから、それにつきましてはよく財政計画については次の機会に改めて、今回お示しはしておりませんが財政計画をうたったなかでお示しをしていきたいと考えております。さらに重点志向ということでもあります。これにつきましてもまさにその通りだと思います。限りある財源ですから、やはり皆さんからいただいた意見を集約の中で重点目標を定めて実施をするということで、今回の総合計画につきましてもそういった方向で進めさせていただきたいと思っておりますので、今日いただいたご意見を参考にしながら計画のほう策定あつていきたいと思っております。大変貴重な意見ありがとうございました。

【市役所】

子育て支援の関係、ご質問いただきまして、この子育て支援市のほうで今実施をさせていただいておりますのは、平成13年に1箇所東原のほうに、それから平成16年に相模が丘のほうに2園目をオープンしているような状況でございます。状況といたしましてはなかなかやはり子育ての関係で、家庭に抱える育児不安等を解消するためにこういう支援センターの役割というのは、かなり役立っているような状況でございます。この支援センター中心に相談事業等を中心に行っているわけではございますが、この支援センターで子育てサークル等の育成等も行っている事業がございます。ここの地域で捉えさせていただきますと、この当コミセンの中に保育室的なものがこの部屋の反対側にもございます。こういったボランティア的なサークルとかそういったものの活用といいますか今後のそういった部分が育成するということがひとつ重要なことかなというふうに考えてございます。また東原にあります子育て支援センターというのは市も中心的なセンターというような捉え方をさせていただきまして、そこからこちらの西部地域といいます。西側のほうの地域についてもこういった相談的なセンター等今後配備、こういったものを検討させていただいているような状況でございます。出来ればこういった保育ボランティアサークル、こういったものが市内に育成、育てていただければとこういうような考えで動かさせていただいているところでございます。

【コンサルタント】

今ご質問ご意見いただいた点につきまして、今現状のなかでお話し出来る分にはお話しさせていただいております。時間も限られてきておりますのでもしご意見ございましたら、少々お待ち下さい。

【参加者】

教育委員会の質問しますけど、市民レク座間市長教育委員会が共催しています。それから最近ひまわりフェスタそれもやっています。10月のだいたい始め頃に市民レクをやるわけですが、人が集まらない、何で12日の体育の日にひまわりフェスタなんていうものをやるのか、非常に憤慨しています。やっぱり10月の頭は市民レク一生懸命やりなさいということを言われ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	21/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

ていながらこういったものを体育の日にやられること自体が何かおかしいんじゃないかと、もっと日にちを考えてもらいたいです。それから大風祭り、お茶1本200円で売ってるんですけど、やっぱりお祭りなんですからもうちょっと市民に安く、商人が儲けるための風祭りじゃないと思うんですけど、商品のためにある大風祭りだったらやめたほうがいいと思う。これはみんなの市民が集って楽しむところなのでお茶を1本150円で自動販売機出るものを200円で売るなんてことはやめてもらいたい。もう1つは私の上のところの公園ですね、非常に水が出ます。大雨の日。それから座間市では相模川災害ハザードマップというものを作っています。それで見たときにわかば保育園、座間幼稚園がある場所がのってないんです。小さな子どもたちがいて非常に危険なのになぜこういうとこにのせないのか、それから山側に逃げて下さいって山側に逃げたら、崖崩れるんですこれだけの雨降ったら。なぜこういうことを平気で書くのか、作った人は現場へ行ってよく見てからこういうもの作ってもらいたい。それから防災無線にいてもこの間伝達で音量上げてやったんですけど、車が通ると全然聞こえません。それで今回ラジオを配ると言いましたけど、こういった座間幼稚園とかわかば保育園にも配っていただきたいし、市民の中にはこのラジオ買いたいという人もいます。この間聞いたら9千円かな、いくらあれして台数が多くなれば安くなりますよという回答はいただきましたけど、やっぱりこの地域は非常にこういった面で税金は多くの方が高額を払っています。それが見返りとして返ってきていません。上宿に対して。もっと税金を払ってるんだから、その分は上宿にももっと道路にしてもこういったものにしてももっと設備をきちんとやっていただきたい。すぐ隣の相模原は2ヶ月前に防災無線つけました。防災無線の近くでは、また出来ないようなこと言われましたけど、ぜひ55箇所計画して36箇所がつけてない、その設置位置もよく検討されていません。なんで中宿の不動尊につけるのか。全然距離的に私のとこまで650m、業者は400mで音が聞こえないと言ってます。そういうことを言いながらなぜこういうことをしてるのか。座間地区の場合は座間小学校、中学校、それからちぐさ幼稚園と、300mの感覚の範囲にちゃんと聞こえるようになってます。それなのに上宿の先端のほうは聞こえない状態になってます。ぜひデジタル化になる前にきちんと対応していただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。時間も限りありませんのでもう一方なりいらっしゃいましたら。少々お待ち下さいマイクをせっかくですのでお使いいただければと思います。

【参加者】

先ほど相模原が入ってないような話聞いたんだけど、部長の回答になかったんでどうなってるのかなと。

【コンサルタント】

どうでしょう他に、よろしいですか。お願いいたします。

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	22/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

【市役所】

ただ今の件でございますが、まず病院説明をさせていただかないとちょっとご理解が得られないかなと思ひまして、通常は皆さんの近くにごございます診療所、開業医さんこういったものが一次診療の病院というふうにご位置づけをさせていただいてます。通常まだ身近な二次救急病院というのがございまして、これが通常救急医療の体制に入ってきます病院、中型の病院というふうにご捉えていただければ結構なんですけど、これを海老名、綾瀬、大和、座間市4市の中で広域で体制を行っている状況でございます。先ほど質問されました大型の病院というのが三次病院、例えばこの地域で申し上げればお隣の相模原の今、昔でいう国立相模原病院、今独立行政法人になってございます。それとか北里病院あとは伊勢原にごございます東海病院、こういったものが三次病院という位置づけになってございまして、日常生活圏で病院を利用させていただく部分についてはこの二次医療圏の中で4市で広域で体制をとらせていただいております病院を捉えていただければというふうにご理解いただければと思ひます。

【コンサルタント】

お時間も迫ってきておりますので、そろそろご意見がございませぬようでしたらここで一度しめさせていただきたいと思ひますがよろしいでしょうか。最後ございませぬか願ひします。

【市役所】

ひまわりフェスタと大風祭りの関係でございますけど、こちらにつきましては実施団体のほうにお話しをさせていただくということによろしく願ひいたします。

【市役所】

市民部長の清田でございます。先ほどのハザードマップを見られて入ってないところがあると、おそらくこれは神奈川県の方で作られた部分かなと思っております。

【参加者】

神奈川県で作ったものを、座間市が作ったんでしょ、このマップは。

【市役所】

その辺の事実も確認しまして、もう一度今後またそういう部分が再発行なり再印刷するようなきががあれば十分注意していきたいと思っております。

【参加者】

そのなかには座間市域と書いてあるわけですね。上宿北部は座間市域じゃないということ。そうじゃない。税金払ってるんだから、ちゃんと対応してくれないと困るんです。

勉強されてないし現場を見てない。現場を見たらこんなの作れるはずがない。

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	23/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

【市役所】

わかりました、ご意見等貴重なご意見として承ります。

【コンサルタント】

それでは意見交換ということはこのあたりでしめさせていただきますと思います。それでは意見交換終わりました、まとめということでもよろしく願いいたします。

5. 市長挨拶

あっという間に時間過ぎちゃいまして、あと10分たらず残るだけでございます。私の方から今日、皆さんのほうからいただきましたご意見そしてご指摘、そうしたことを踏まえた中で感じたことについていくらかお話し申し上げたいと思います。まず今日は座間そして新田宿、四ツ谷というこの座間においてはいちばん伝統ある地域の皆さんからのご意見ということで、これまで4地区で行ってきた懇談会とやはりちょっと違うかなというふうな印象も率直に受けたわけでございます。今の大風の話ですとかそれから水に対しての非常に危機感といいますか、今後についてどうなんだろうかという部分のご指摘ですとか、それから道路整備の関係の話ですとか色んな部分でかなり、どういったらいいんでしょうか市全体を考えた中で取り組みをというふうなイメージのお話をかなりいただいたような思いがでございます。一方においてわかば保育園の建物の保存をという話をいただいたわけでございますけれども、確かに非常に太いケヤキの柱がある、あの建物はキャンプから払い下げられたものと存じておりませんで、今日はひとついい本当に勉強させていただいた思いでございます。振り返りますと、今解体しましたけれども座間の旧公民館にいたしましても、本当にこの座間のまちの先人たちがなした、まさにその当時先進的な施設ということで木造の本当に重みのある建物があった時代でございます。今全く影も形もなくなったわけでございますけれども、そういったようなやはり伝統というものがあつたがゆえのこのまちなんだなということを改めて今日感じさせていただいたわけでございます。一方において戦後の60年余、にわたる風雪のなかで、ここはキャンプ座間の話もあつたわけでございますけれども、陸軍士官学校戦前のこのまちの先人たち誘致をされて、ある意味では軍都ということで一定の歴史を刻みその後に、それがゆえに米軍の進駐がありキャンプ座間として、基地のまちというイメージになり、また戦後昭和30年代の半ばから40年代にかけては相武台・広野台地域、戦後高度成長の波にしたがって宅地の開発と同時に工場の誘致、特にご存知の通り日産自動車という大変な、国際的にも名を成した企業がここに立地をするといったような歴史を歩んできたわけでございます。そうしたなかでじゃあ今どうなってるんだろうかというふうに考えたみたときに、先ほどのお示しをしたひとつの中に市街化区域と市街化調整区域の割合、そして市街化区域の中における都市的な立地というものが進行してしまっている。92.1%がもうそういった部分での開発がなされていくといったような事実もあるわけでございますし、古くからこのやはり小田急沿線、それから相鉄線といったような横浜そして東京に通うのに非常に便利がいい鉄道路線の沿線ということもあり、宅地化というものも進んだなかで現状1㎢あたりに7300人という人口密度、これは県下で4番目なんでございま

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	24/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

すけれども、こうしたまちに、実際なっているわけでございます。一方ではここ新田宿こういうふうの本当にほっとするんですけれども、周囲には堀の整備がなされた水田が広がり本当に相武台・広野台地域とは全く様相をこととした田園風景というものがあったり、この4キロ四方17.58㎏というまちの中に色々要素が箱庭のように織り成しているという、ある面では非常に特徴があるまちなんじゃないかなと私感じておるわけでございます。決して中心市街地があるわけではなく、まちの真ん中には人為的に作られた今回のこの三次総合計画のなかでつくられた、いわゆる行政核の部分それから谷戸山公園というのがあるわけですから、そこに商業集積があるわけではなくそこに人が集まってくる、こういういわゆる1つのまちで一気に通貫全てを完結をするというまちではないわけですね、これはやはり東京横浜のベッドタウンということでここまできたなかで、周辺の地域座間市だけではなく近隣の市町村、さらには東京横浜といったような経済的に、また企業の部分でもまた子どもさんたちの学業の部分でも密接に関係をしている、そうしたところとのリンクを考えなければ当然このまちの将来というものにもらんでいけない、そうした要素をやはりきちんと踏まえたなかで取り組みをしていかなきゃいけないというのがまず大前提だというふうに思っておるわけでございます。今日いただいたお話の中で例えば医療の話がございました。保健福祉部長からお話し申し上げましたが、この県央の広域医療圏と考え方は私共座間市が提唱しているお話ではないわけございまして、県全体のくくりのなかで、この県央の医療圏すなわち相模原の左岸、東側の4市座間、海老名、大和、綾瀬そして西側の1市1町1村、厚木、愛川、清川このあたりが一体となって広域の医療圏としてくられてその全体の人口、そうしたなかで病床数がいくつあるのか、医療機関がどのくらいあるのか、こうした統計的な分析がなされて他のところに比べれば病床数というのが基準をクリアしております。全体でくってです。それをオーバーしているので医療機関誘致に関してはここではなく他が優先ですよ、こういうような施策に今なってるわけです。しかしこれも私共座間市民からすれば非常に矛盾があるわけですし、全然それは生活実感とかかけ離れているわけですね。そのなかでやはり例えばこの特に相模川の東側の4市、これだけでも共通して取り組みやろうじゃないかと、これは医療の関係だけではなく、例えば消防の関係なんかもそうなんですけれども、小さくひとつだけでやるんじゃなく、広域でやれば効率が上がることもある、ごみの課題もそうですね。これも大和を別にしまして残りの3市綾瀬、海老名、座間で海老名さんの本郷の方にお世話になりながら、ごみの処理に関してはトリオとなっていていただいているわけです。医療の話に戻りますと、この4市のなかでも実は、先ほど部長が話をしました最終的にいちばんの高度医療を施す三次救急、大学の付属病院、東海大それから北里大の病院それからいわゆる国立の相模原の病院の話が出ましたけれども、これもこの4市の中では例えば私ども座間市の場合だと、ちょっとやはり考えるのが北里大学さらには国立相模原というようところがやはりイメージが沸くんじゃないかと思えます。ところがお隣の海老名にいくとどっちかという東海大というイメージがあるんだそうです。二次救急の部分で共通の課題となっても今度はその後の三次の部分になるとまた違ってくる。こんなような色んな課題が行政上はあるわけでございます。こういう機会がなければなかなかこういう話は出来ないわけでございますけれども、ただそれはそれとして、市民の立場になって考えたときにこれか

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	25/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

ら高齢化が進展をする、そうしたときにすぐに身近なところで医療が受けられる、まして緊急の事態救急の事態にそんな遠方に行かずとも措置が受けられる、こういう環境なくして何が安心安全だと、当然こういうお話になろうかと思えます。これについては、これは総合計画の中の位置づけはもちろんでございますけれども、当然その市民感情に則ったかたちで、県・国といったところに私どもの立場で両方行いながら、このやはり市民感情に沿ったようなかたちにこの行政のあり方をもってくるような努力というものは当然していかなきゃならない、このように思うわけでございます。これは道路整備の関係も私は同様だと思っております。ご指摘いただきましたようにこれだけ都市化が進んでいるなかで、幹線道路の整備を現状その都市計画のなかで描かれている。第三次総合計画でも南北の軸については、実は謳い込みがあるわけでございまして、広野大塚線の関係それから南からこちらの座間の方へ来る座架依橋、こういった東西のルートに関しても当然位置づけがなされておるわけでございます。これをやはり実現をさせていくためには当然私共行政として、計画の中に位置づけをし、それを実現していくための汗をかいていく、そしてそのコンセンサスを作っていく。当然その道路を作るということである以上は、拡張するためにどいていただかなければならない方も出てくるかもしれない、また土地を提供していただかなければならない方も出てくるかもしれない、土地を持ってらっしゃる地権者の皆さんそして住んでらっしゃる皆さん、そうした皆さんにやはりご理解をいただきながら全体をやはり公共の福祉という部分を踏まえた中での取り組みをしなければいけない、やはりそれを計画の中に織り込んで実行していくためにもそれを市民の皆さんからのご期待、これをやらなきゃいけないんじゃないかという声があってはじめてこれは勇気をもってやっていくことが出来るわけでございまして、そういう部分では今日非常に示唆に富んだ前向きなお話、やらなければいけないというお話をいただいたかというふうに私も思っておるわけでございます。また、財源の話がございました。本当に今後はっきり申し上げて、座間住宅都市でございます。この貯金の数字で市の一般会計の予算が310億から20億程度、その中で市税収入が180億程度だというふうに記憶をしております。その中に占める私どものいわゆる法人関係の税金、座間というと日産の座間というふうなことをよく昔言われたわけでございますが、残念ながら今法人関係の税金、特に法人市民税収というのが本当にわずかでございまして、10億円プラスアルファないしは10億をきる年も近年ではあったわけです。近隣に比べてもお隣の綾瀬や海老名にいきますと、その倍3倍といったような額も法人市民税収もあったりしておるわけでございますけど、これは余談になりますけれども逆に今この厳しい景気の下でそれがぐんと落ちることによって大変な、余剰をした部分がないといことで、財政計画で苦勞をされておると伺っておりますけれども、そういった部分でやはり取り組みをしていかなきゃいけないということ、喫緊の課題でございます。これは他の地域でもご指摘があつて不安を感じられた部分があつたんであえて今日はお話したいと思うんですが、やはりこの市街化区域の中においての面的な開発が本当に9割以上進んでしまつてななかで、やはり新たなこの地域にとっての税金を生み出すための資源作り、これはやはり大変困難でございます。現在の地権者、すなわち大規模の法人がおありになればその皆さんにもう一度それを高度に再利用していただく、はたまたこれを売却される際にはそういったより付加価値を生んでいただけるよ

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】		頁	26/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター	

うなところに、この用地というものを売っていただいて新たな私どもにとっても、市民にとっても雇用の場になる、また税収の面に資するようなところをやはり呼びこんでいく、こうしたやはり努力というものも必要であるわけでございます。これもやはりその地権者の皆様のご理解が必要であるわけでございまして、やはり共にそうした皆さんとも歩んでいくという行政の姿勢がなければこれも出来ないわけでございます。そうしたなかでせつかくの機会でございますのでひとつ朗報をお話ししておきますと、日産自動車の跡地という話をよくされるわけでございますが、いわゆる日産自動車さんが平成7年に組み立て工場を閉鎖をされて以来、特にここでは本当に世界的に有名なロボットが車を生み出すといったようなことで、思い出しますと英国のチャールズ皇太子ダイアナ妃が来られたりだとか、中国の鄧小平が来られたり、色んな著名人が来られたということで一世を風靡したわけでございますけれども、ここがなくなって次から次へ、例えばいちばん北側の部分がカレスト座間という中古車センター、その南側の道路も今回すごくでっかい倉庫が出来ちゃったじゃないかと、日産どこ行っちゃったんだ、そんなご指摘もいただきます。しかしながら今日産自動車さんは座間南林間線の部分を中心にその南北の部分、北側は北向庚申からずっと洋らんセンターさんのところを通って小松原に抜ける道のところ、あれから南側。日産さんでいうと2地区とおっしゃいますけれども。そして今の座間南林間線これを挟んだ南側、これを3地区と申しますけれども、この両地区で事業の再構築を相当行っていたいております。ピーク時にいらっしゃった社員が3200人、これが現在2800人と戻ってきました。これは何かと申しますと、自動車の生産は行っていませんけれども、ひとつには一昨年こちらのほうで開業しました、グローバル生産技術センターと称される日産自動車さんが全世界消費地で自動車の生産を行っていくための生産ラインを最終的に立ち上げ検証していくためのモデルプラント、いわゆる組み立て工場のマザープラント、これがこの座間にございます。さらにはそこに生産設備を供給する金型ですとか、中で使われる生産機械、こういったものを設計製作開発をしていく部門、工機工場というものが前からあるわけでございますけれども、この日産の座間のほうにその工機の部分を集約をしていただいて持ってきていただいた。言ってみれば日産さんが本社を横浜に持ってこられて、厚木にテクニカルセンターを持ってこられて、いわゆる魂の部分が横浜であれば頭脳の一部が厚木、そしてそれを実際に具体化するためのスキル手足の一部が座間にきています。これはぜひ私ども市民が誇りに思っていて自信を持っていいんじゃないかというふうに思うわけでございます。さらにそこにプラス、日産さん今ハイブリッドの車を出すのが遅れていて非常に苦労されておりますけれども、その代わりご存知の通り来年の秋から冬にかけてリーフという電気自動車を本格的に販売をしていくということで、目下非常に猛スピードでこの取り組みをされています。我々はあまり実感をしていないんですけども、アメリカやヨーロッパにおいてはかなり先行してこれについての引き合い、オーダーがきておまして、国内においても販売当初については先行予約の順番に車をだしますというような話になっておるようですし、私共にもそういうオファーがまいりました。そうしたなかで日産自動車さんはこの座間事業所の中にオートモーティブエナジーサプライという日本電気さんとの共同出資の会社をおこされまして、ここで電気自動車のリチウムイオン電池の開発、そして一次量産、このプラントをまず立ち上げていただきました。これに

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	27/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

ついては昨日の日産さんオートモーティブエナジーサプライの社長さん来られてご挨拶こられたんですけども、これがおそらくさらにこの座間の地において、広範な展開がなされるというようなお話を、まだ計画段階ではっきりしたことは伺えないんですが、これもお話を承っておるところで。そういった意味でやはり小さいこのまちでございますけれども、その中の土地もそうですし、人材もそうですし、色んなものをやはり有効活用しながら、やはり持てる資源というものをきちっと生かしながらこれからの取り組みを考えていく、そうしたやはり位置づけ、方向付けというものが今回の総合計画に必要なようになってくるんだというふうに思います。もうひとつ、子育て支援の関係等、施設の有効活用の話、また保育所の話なんかもあるわけでございますけれども、私もうひとつ思ってるのはこの財政が非常に厳しいなかで新たな都市基盤の整備のなかでの箱物というものを作っていくとは大変難しい時代になってきていると思うんです。これはやはりこれまで持ってきたもの、これまで私どもの先人たちが築いてきたものを維持管理しながら、これまでの施設目的とはまた違った部分でもニーズがあればこれは、多面的な活用というものをフレキシブルに考えていく必要がこれから出てくるんじゃないかと思うわけです。コミセン公民館そして文化センターこういったものはもちろんですけども、例えばこれはもう地方に行くところあります学校の空き教室の関係もそうだと思うんです。こういった部分も含めてこれはまた具体についてここでどうのこうのという話ではないんですが、そういった点もぜひ今後皆さんのお考えを総合しながら取り組んでいく課題になっていくのではないかというふうに思うわけでございます。ともかく先ほど人口のお話もございましたけれども、私共あと6年ぐらいでピークを迎えるというような予想を立てております。そして高齢化率というのも年々進んでいく、そうしたなかでもうひとつ言えることは、一生懸命今まで外へ働きに出られていた現役世代がリタイアをされ、これはある意味では仕事を持たれなくなるわけでは中には扶助を必要とされる方も出てこられるかもしれない。しかし一方においては年金をいただきながら、まだ元気でご活躍いただける、またそこで地域の中で新たに生きがい創造という言葉を使うとある意味かっこいいわけですけども、お互いを人生をこれから楽しんでいく、歩んでいくなかでこれまで培われた能力なりご経験というものをぜひ今度は地域の中に生かしていただき、その中に生きがいを感じていただく、こうした取り組みというものも私どものほうで、積極的にやはりお願いをしながら、これこそがまさに市民との協働、お互いにまちを作っていくことにつながるんじゃないかと思うんですけれども、そうした方向性というものもぜひ打ち出していくべきではないか、それが私が先ほど申し上げたハードからソフトへという部分だというふうに私思っております。自治会の関係これは特に相武台・広野台地域では非常に希薄化をしてきている。ごみの関係なんかもそうですし、色々な部分でこうした部分についてもやはり地域のコミュニティのあり方というものを色々な角度からやはり考えていかなければならない、単なる自治会にお願いしますというだけではなく、お願いしますということについては最初にご指摘あったんですが、そういうふうに言っていないながら市のほうは全くやっちゃいないじゃないかと、新しく住まわれる方が住民票、住民登録に行くと、自治会に入ることについてそれは任意ですから、ということと言われるというお叱りを頂戴したところでございます。これもやはりこのこうした懇談会の中でご指摘をいただいた中で私ども本当に反省をし

件名	地域別懇談会 【座間・新田宿・四ツ谷地域】	頁	28/28
日時	平成21年10月21日(水)	場所	新田宿・四ツ谷コミュニティセンター

てるわけでございまして、任意であろうとも、やはりこれは地域の中に入って共に歩んでいただく以上は、出来る限りこれは入っていただいて、一緒に地域のことを考えて下さい。と言うのがやはり筋であるわけでございまして、そうした点についてもやはり多面的な取り組みをしていかなければならない、またさせていただきたいというふうに思うわけでございます。もろもろお話し申し上げてとちらかっちゃった部分もあろうかと思うんですけども、本当に今日色々とまた示唆に富んだお話を沢山いただきました。本当にありがとうございました。今日いただいたお話についても色んなまたご示唆ご意見そして厳しいご指摘についても、真摯に受けとめをさせていただき、またこれを私どものほうで整理をさせていただきながらこの計画さらに具体的に落とし込んでいくため、これから取り組みをしっかりとさせていただきたいと思いますし、また合わせて行政についても皆様のご期待にお応えするべく取り組んでまいる所存でございまして合わせてよろしくお願いをしたいというふうに思います。今日は本当に夜分お疲れのところを遅くまでお付き合いいただきましてありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いをいたします。

6. 閉会

以上をもちまして本日予定をしておりました地域別懇談会の内容につきましては全て終了いたしました。本日は貴重なお時間とご意見いただきましてまことにありがとうございました。これをもちまして地域別懇談会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。